

# 感染爆発と医療逼迫の打破に向けた緊急声明

新規陽性者数が過去最多を数える府県が20に達し、自宅療養者数も1か月前の1.1倍超の4万5千人となるなど、東京・沖縄のみならず感染急拡大の波は全国に波及し、適切な医療を即時に受けられない状況が急拡大しており、現場を預かる知事として日々危機感を募らせるほどの非常事態に差しかかっている。

現在、新型コロナウイルス感染症をめぐり全国で生じている状況は、「感染爆発」と言える状況で、もはや、個別の都道府県や自治体のコントロールが困難な局面に至っており、政府及び国民の皆様におかれては、「デルタ株は未だかつて経験したことのない強力な新ウイルス」との認識に立つべきである。

我々全国知事会としても一致協力し、国とともに感染の抑え込みに取り組む決意であるが、政府は、こうした感染爆発と医療逼迫の現状を直視した上で、感染防止対策をこれまでにない大胆な手法も躊躇せず、下記に御留意の上、前例にとらわれない思い切った対策を投入するよう強く求める。

## 記

1. 日を追って情勢が悪化する現在の感染爆発に対応するため、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」を現場の実情を踏まえ発動を求める各知事の要請に即座に対応するなど、スピード感をもって特措法の機動的・弾力的運用を図ること。
2. 現状においては対策が功を奏しているとは言い難く、前例にとらわれることなく更に強い措置となる「ロックダウン的手法」のあり方についても検討を進めるとともに、各知事や専門家が発している呼びかけとワンボイスで、政府からも強力かつ明確なメッセージを国民に対して発すること。
3. 「感染防止対策とワクチン接種」の双方を支える医療体制を維持するために必要とする医療人材・医療提供体制を地域内で又は近隣地域との相互支援の中で確保することが限界に達している状況を深く認識し、「助かる命を助ける」ため、日本医師会その他関係団体とも連携し全国で調整する仕組みを迅速に構築し、国の総力をあげて取り組むこと。

令和3年8月13日

## 全国知事会新型コロナウイルス緊急対策本部

本部長	徳島県知事	飯泉	嘉門
本部長代行・副本部長	鳥取県知事	平井	伸治
副本部長	京都府知事	西脇	隆俊
副本部長	神奈川県知事	黒岩	祐治